

# <あずさからのメッセージ>

6年組 ( )

あずさが大きくなるにつれ、笑ったり泣いたり家庭もますますにぎやかになってきました。さて、家族の中でこんな会話がありました。□の中に入るりょうやゆうの言葉を一緒に考えてみませんか。きっとあずさからのメッセージが伝わってくるはず・・・です。

**あずさからのメッセージ** 1 あずさ3ヶ月 体はふにゃふにゃしているけど  
ほわっと笑えるようになったよ。

あずさが生まれてからというもの小学校3年生のりょうと1年生のゆうは、あずさの取り合いです。ちょっと年の離れた妹がかわいくてかわいくてたまりません。学校からも「あーちゃん、ただいま」と、はあはあ言いながら走って帰ってきます。

さて、この兄姉にどのようにあずさの「障がい」のことを伝えようかと考えました。ほっておいても少しずつ気がついていくかなあとも思いましたが、きっちり伝えてみようかなと考え、お風呂に入った時に話すことにしました。

「あのね、あずさのことだけど、あずさはみんなとちょっと違うところがあるから聞いてくれる？」

「あずさは、ゆっくり成長していく子どもなんよ。それで、歩いたり走ったりというのもずっと遅くなりそう。」

僕も、歩くの遅かったよね

「うん、それだけじゃなくて、勉強もゆっくりしかわからんけん、ひらがな書くのもいつできるようになるかわからんと。数を数えるのもいつになるかわからん」

えっ名前くらいは書けるやろ

「もしかしたら、ずっと書けんかもしれんよ。」

りょうは、じっと黙ってあずさの顔を見ていましたが、こう言いました。

---

それを聞いた私は、何度も何度も顔を洗って、涙が止まらないのを気付かれないうようにするのが精一杯でした。

**あずさからのメッセージ** 2 あずさ3歳 立っちは、上手に。歩けそう！

あずさが3歳になった頃、ゆうは、小学校の4年生でした。

夕食の時にゆうが私に話しかけました。

ねえ、おかあさん、私将来おかあさんになったらたくさん子供が欲しいなあ  
「いいねえ。ゆうは、子ども好きだから楽しいっちゃんない。」

それで、もしかしたら私も障がいのある子を産むかもしれんやろ？  
そうだとしたら

-----  
-----  
「そうやね。ゆうの言いたいことわかるよ。」

あなたの予想を聞かせて！！

これからあずさは、どんどん成長していきます。おかあさんである私は、どんなことが楽しみでしょう。又どんなことに不安を感じているでしょう。

-----  
-----  
-----

今日の学習を終えて

\*わかったこと、気付いたこと、もっと知りたいこと、私はこれから・・・  
たくさん書いてくれると嬉しいです。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

今日は、お話を聞いてくれてありがとう。わからないことは聞きに来てね。是松